【須坂市に関わりのある 18～49 歳の方対象】
若者世代を対象にしたアンケート調査
結果報告書

＜調査概要＞

■調査方法：ながの電子申請システムを利用したインターネット調査

■調査期間：５月 14 日（水）～６月２日（月）

■対象者：18 歳～ 49 歳 までの方（４月１日現在）

■有効回答数：632 人

※四捨五入の関係から、各解答の合計が 100%にならない場合があります。

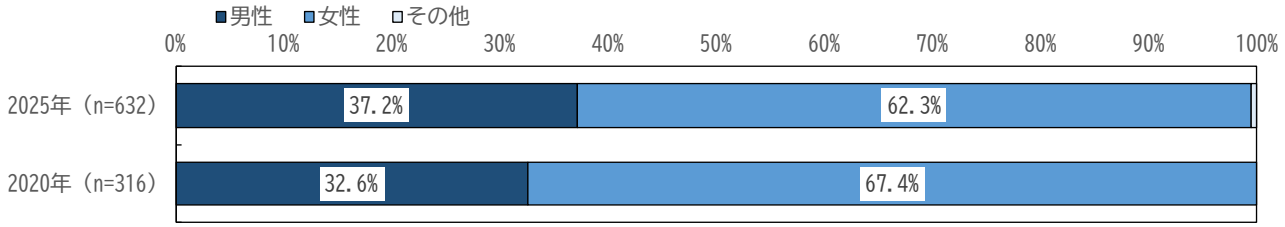
※過去に実施した調査との比較を行った箇所があります。

2025 年７月

1. あなたやご家族のことについて

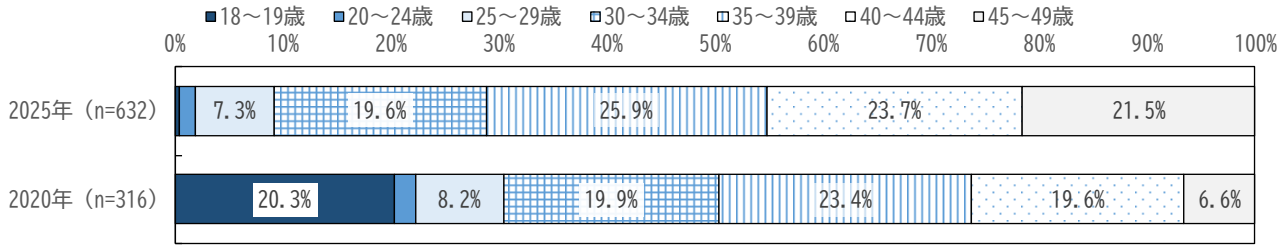
- 回答者の性別は「男性」が 37.2%、「女性」が 62.3%で女性の方が多い。
- 回答者の年齢は 30 代が全体の 45.6%、40 代が 45.3%を占めている。
- 居住地区は「小山」が 16.8%で最も多い。「市外」在住者は 4.6%となっている。

Q1.あなたの性別を教えてください。（一つを選択）

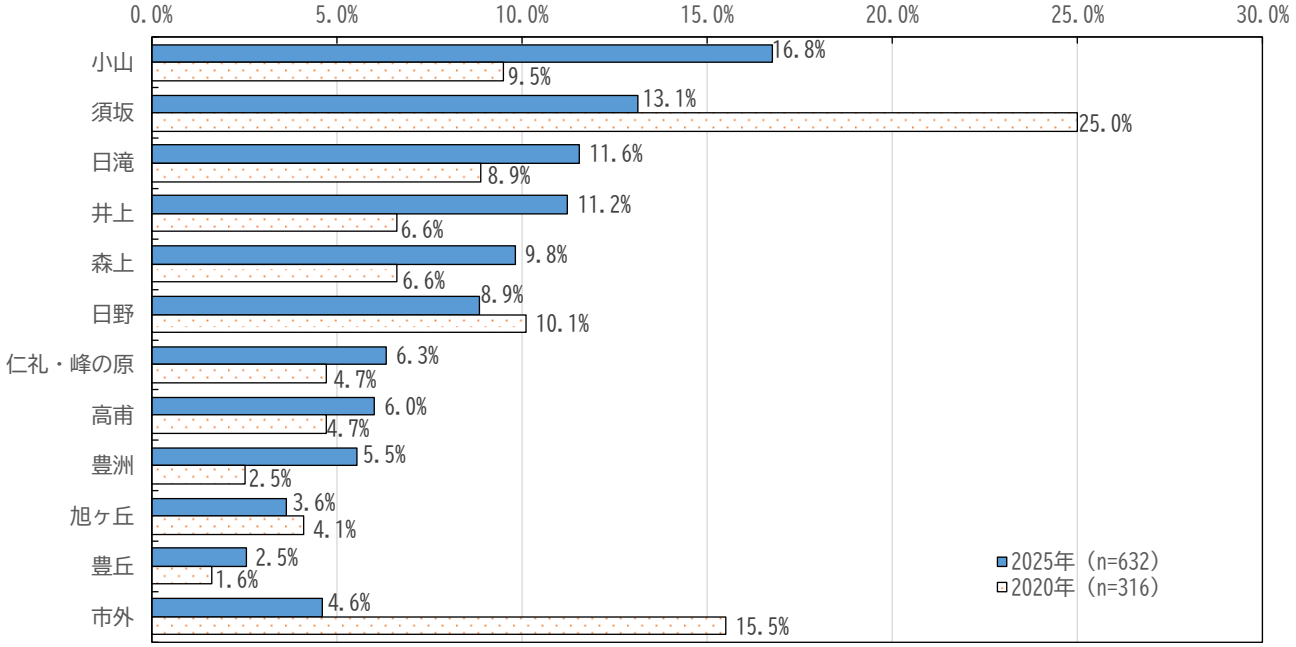


※2025年調査では「その他」を追加

Q2.あなたの年齢を教えてください。（一つを選択）

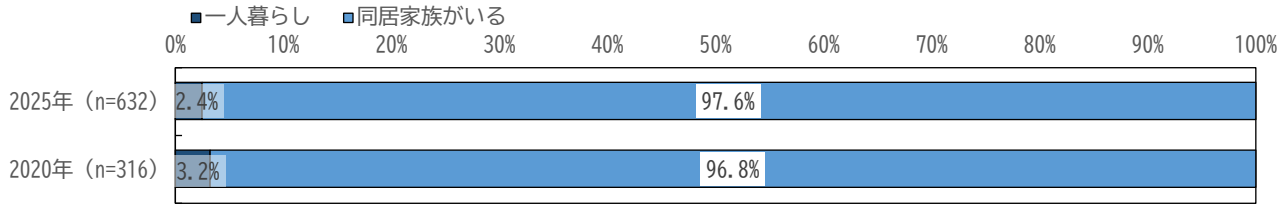


Q3.あなたの居住地区（小学校通学区）を教えてください。（一つを選択）



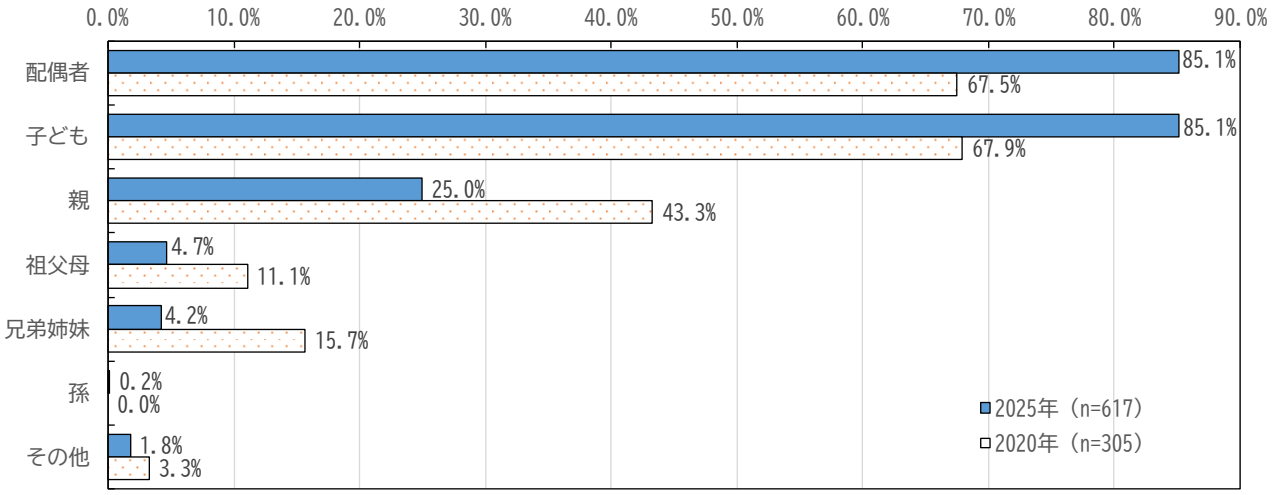
- 家族構成は「同居家族がいる」が 97.6%で大半を占めており、「一人暮らし」はごくわずかである。
- 現在同居している方は、「配偶者」「子ども」がそれぞれ 85.1%を占めている。ついで、「親」が 25.0%となっている。

Q4-1. あなたの家族構成について教えてください。（一つを選択）



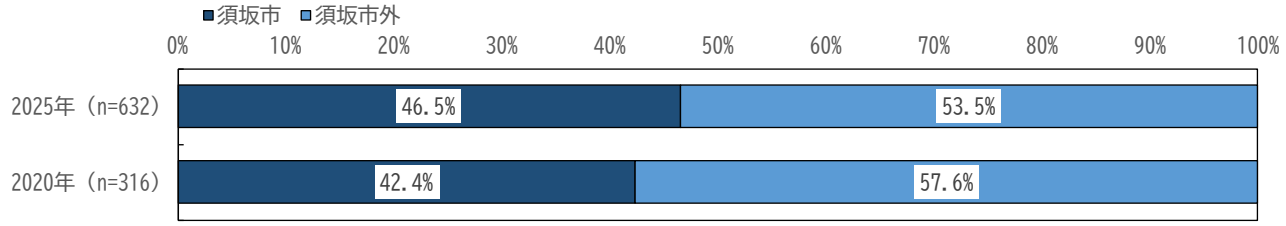
Q4-2. 【Q4-1 で「同居家族がいる」と回答した方】

現在同居している方を全て選択してください。（あてはまるもの全てを選択）

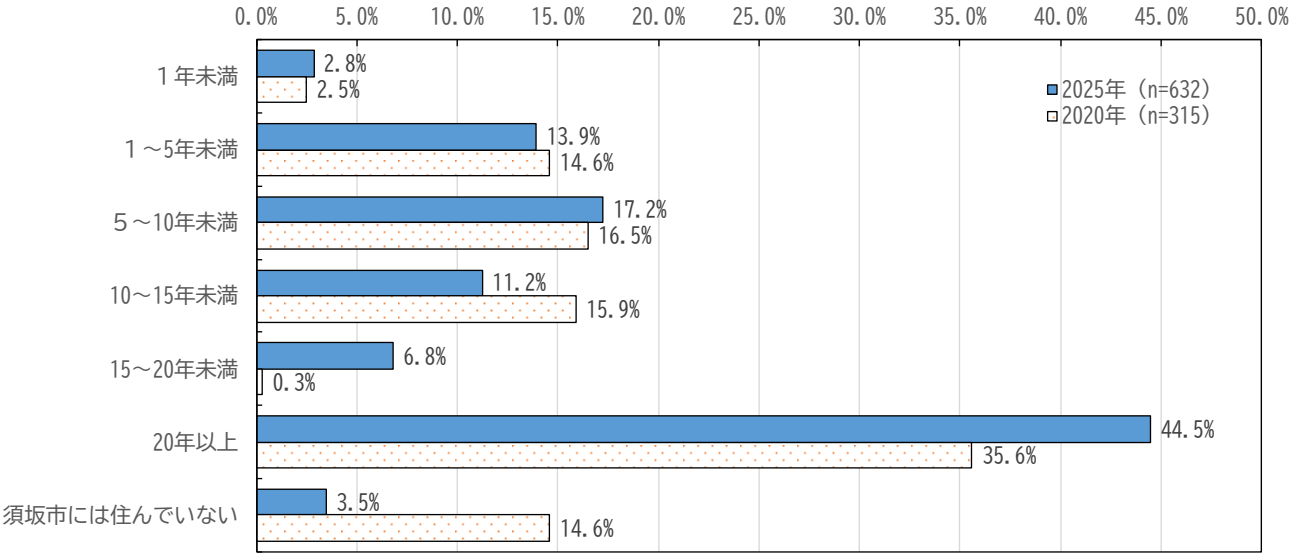


- 出身地は、「須坂市外」が 53.5%、「須坂市」が 46.5%であり、市外出身者の方が多い。
- 須坂市の居住年数は、「20 年以上」が 44.5%で最も多く、ついで「5～10 年未満」が多い。

Q5-1.あなたの出身地を教えてください。（一つを選択）



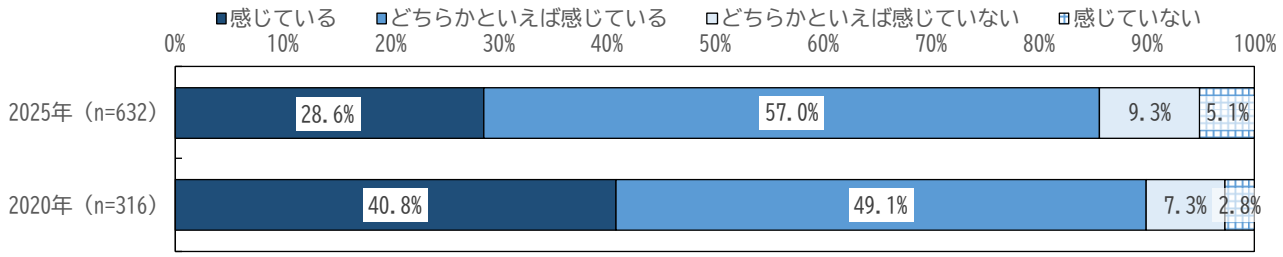
Q5-2.須坂市の居住年数を教えてください。（一つを選択）



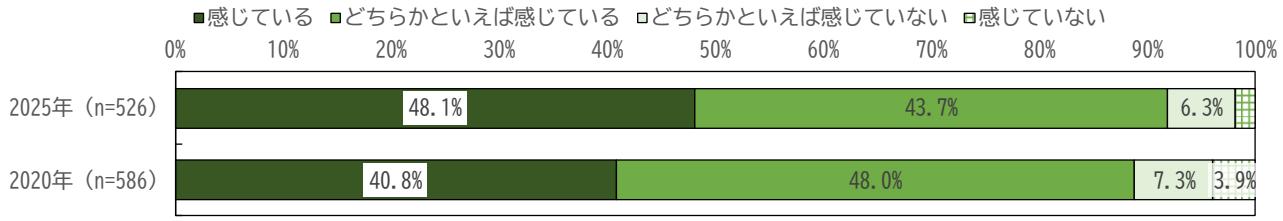
2.須坂市での生活等について

- 暮らしの中で「しあわせ」や「いきがい」を感じているかについては、「感じている」「どちらかといえば感じている」が合わせて 85.6%を占めている。
- 須坂市が魅力的な地域だと思うかについては、「そう思う」「ややそう思う」合わせて 58.9%となっている。

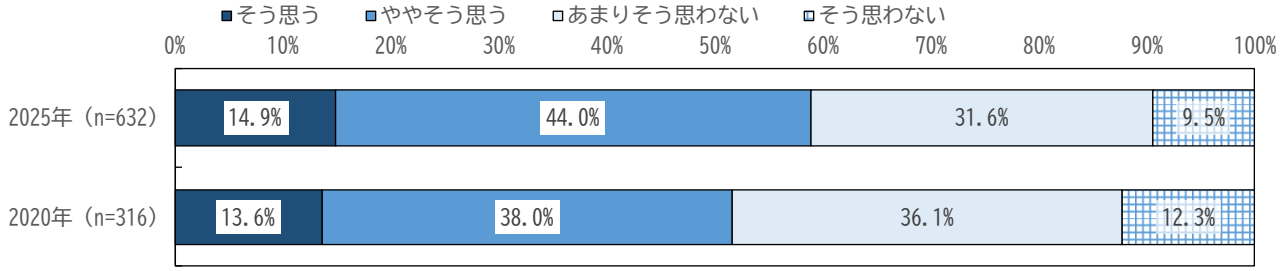
Q6.あなたは暮らしの中で「しあわせ」や「いきがい」を感じていますか。（一つを選択）



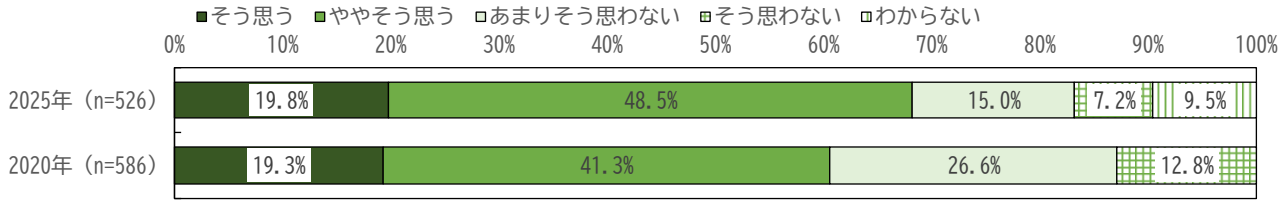
【参考】高校生アンケート結果



Q7.あなたは須坂市について魅力的な地域だと思いますか。（一つを選択）

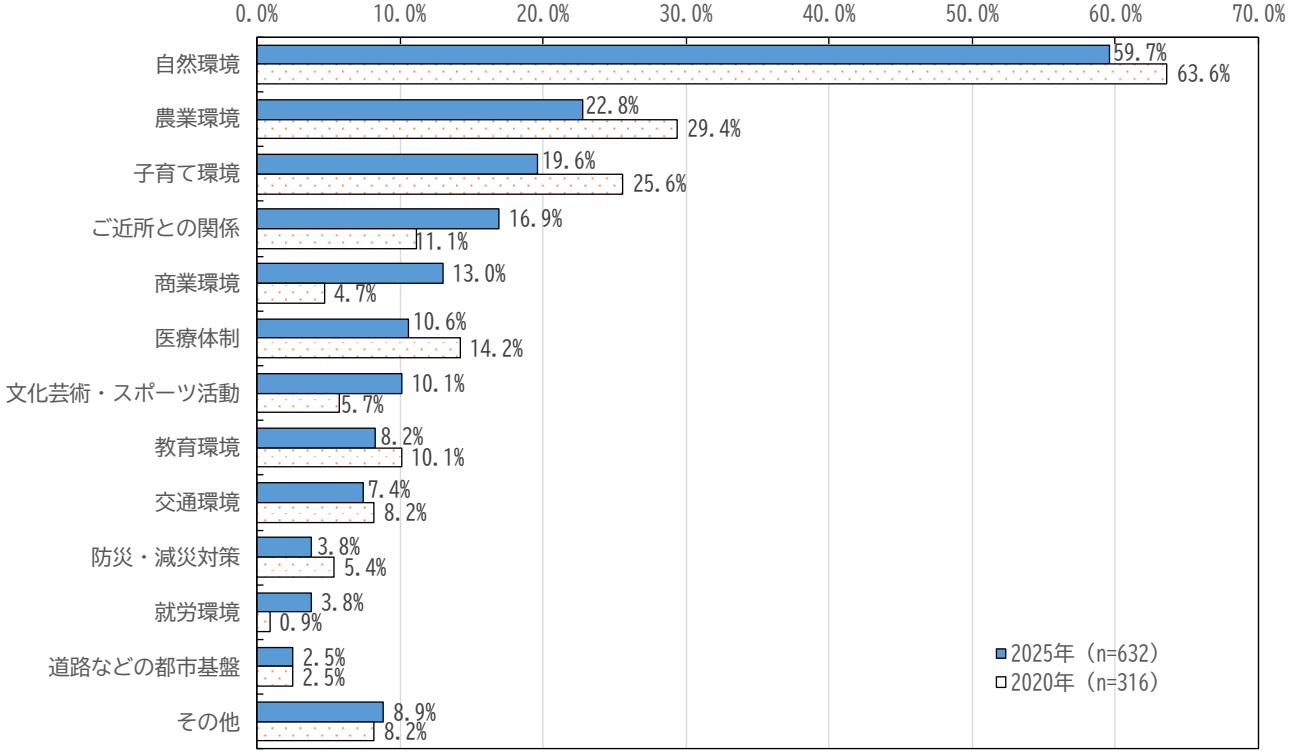


【参考】高校生アンケート結果



- 須坂市の「魅力・よいところ」については、「自然環境」が59.7%で突出して多く、ついで「農業環境」「子育て環境」の順となっている。

Q8.あなたが思う須坂市の「魅力・よいところ」を選んでください。（最大３つまで選択）

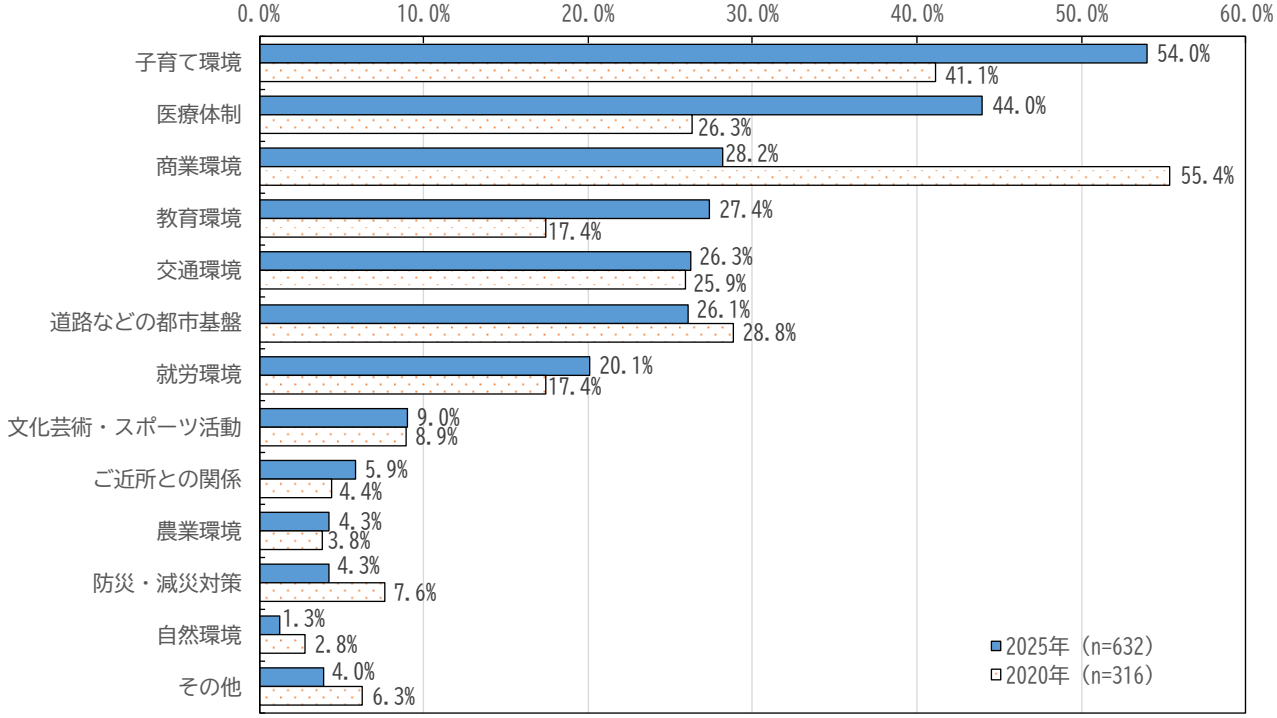


【参考】須坂市の魅力・よいところ（年代別）

	10～20代(n=58)	30代(n=288)	40代(n=286)	総計(n=632)
自然環境	53.4%	58.3%	62.2%	59.7%
農業環境	17.2%	24.3%	22.4%	22.8%
子育て環境	17.2%	19.8%	19.9%	19.6%
ご近所との関係	17.2%	12.8%	21.0%	16.9%
商業環境	12.1%	13.2%	12.9%	13.0%
医療体制	15.5%	6.6%	13.6%	10.6%
文化芸術・スポーツ活動	15.5%	10.4%	8.7%	10.1%
教育環境	8.6%	5.9%	10.5%	8.2%
交通環境	12.1%	9.0%	4.9%	7.4%
防災・減災対策	1.7%	3.5%	4.5%	3.8%
就労環境	1.7%	6.6%	1.4%	3.8%
道路などの都市基盤	6.9%	1.4%	2.8%	2.5%
その他	10.3%	9.4%	8.0%	8.9%

- 須坂市の「改善を要するところ」については、「子育て環境」が 54.0%で最も多く、ついで「医療体制」が多くなっている。
- 前回 2020 年調査と比較すると、「医療体制」「子育て環境」がそれぞれ 17.7 ポイント、12.9 ポイント増加したのに対し、「商業環境」は 27.2 ポイント減少している。

Q9.あなたが思う須坂市の「改善を要するところ」について記入してください。（最大３つまで選択）



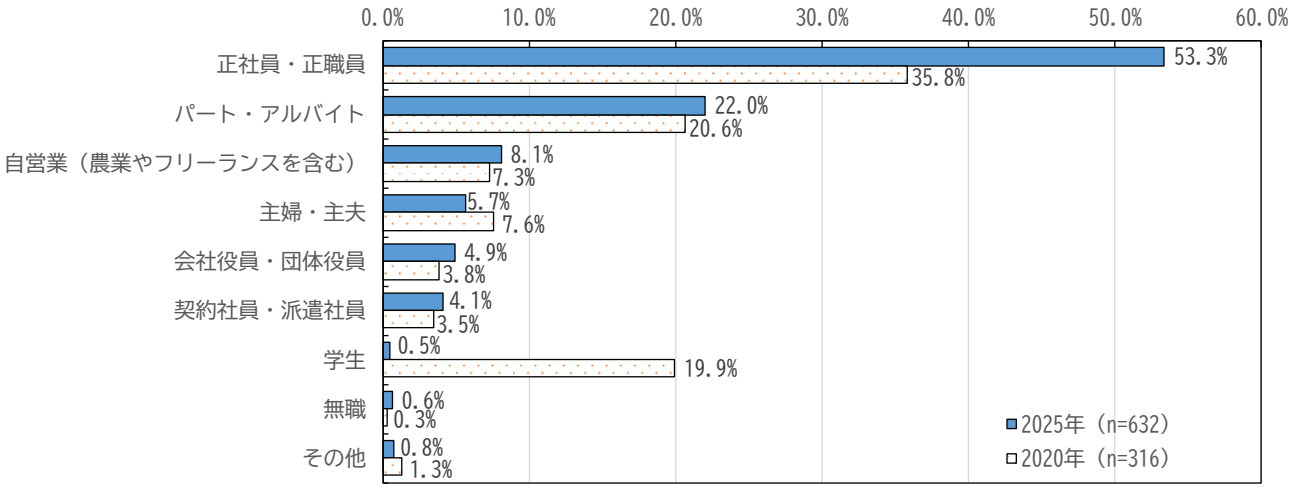
【参考】須坂市の改善を要するところ（年代別）

	10～20代(n=58)	30代(n=288)	40代(n=286)	総計(n=632)
子育て環境	56.9%	63.5%	43.7%	54.0%
医療体制	39.7%	49.3%	39.5%	44.0%
商業環境	22.4%	25.0%	32.5%	28.2%
教育環境	17.2%	30.6%	26.2%	27.4%
交通環境	29.3%	22.2%	29.7%	26.3%
道路などの都市基盤	31.0%	20.5%	30.8%	26.1%
就労環境	12.1%	20.8%	21.0%	20.1%
文化芸術・スポーツ活動	8.6%	7.6%	10.5%	9.0%
ご近所との関係	1.7%	6.9%	5.6%	5.9%
農業環境	8.6%	2.4%	5.2%	4.3%
防災・減災対策	3.4%	4.2%	4.5%	4.3%
自然環境	0.0%	1.4%	1.4%	1.3%
その他	1.7%	3.5%	4.9%	4.0%

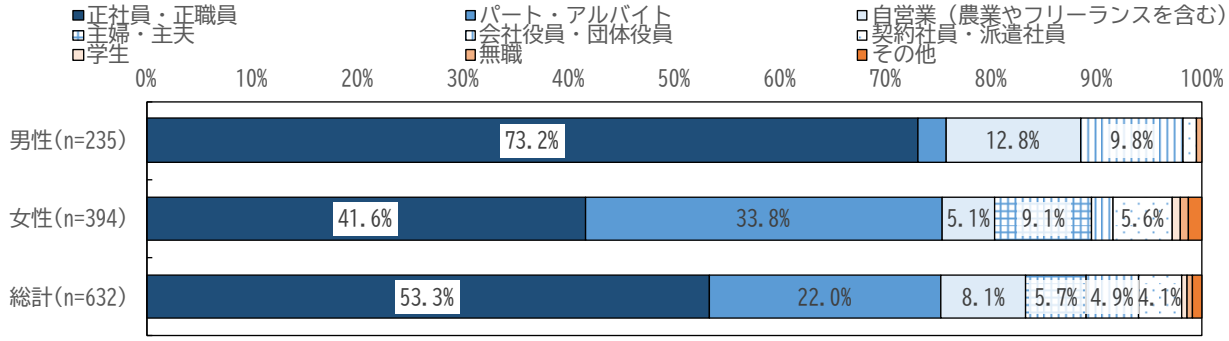
3.就労について

- 現在の就業形態について、「正社員・正職員」が53.3%で最も多く、ついで「パート・アルバイト」「自営業（農業やフリーランスを含む）」の順で多くなっている。

Q10.現在主に従事している職業の就業形態について教えてください。（一つを選択）



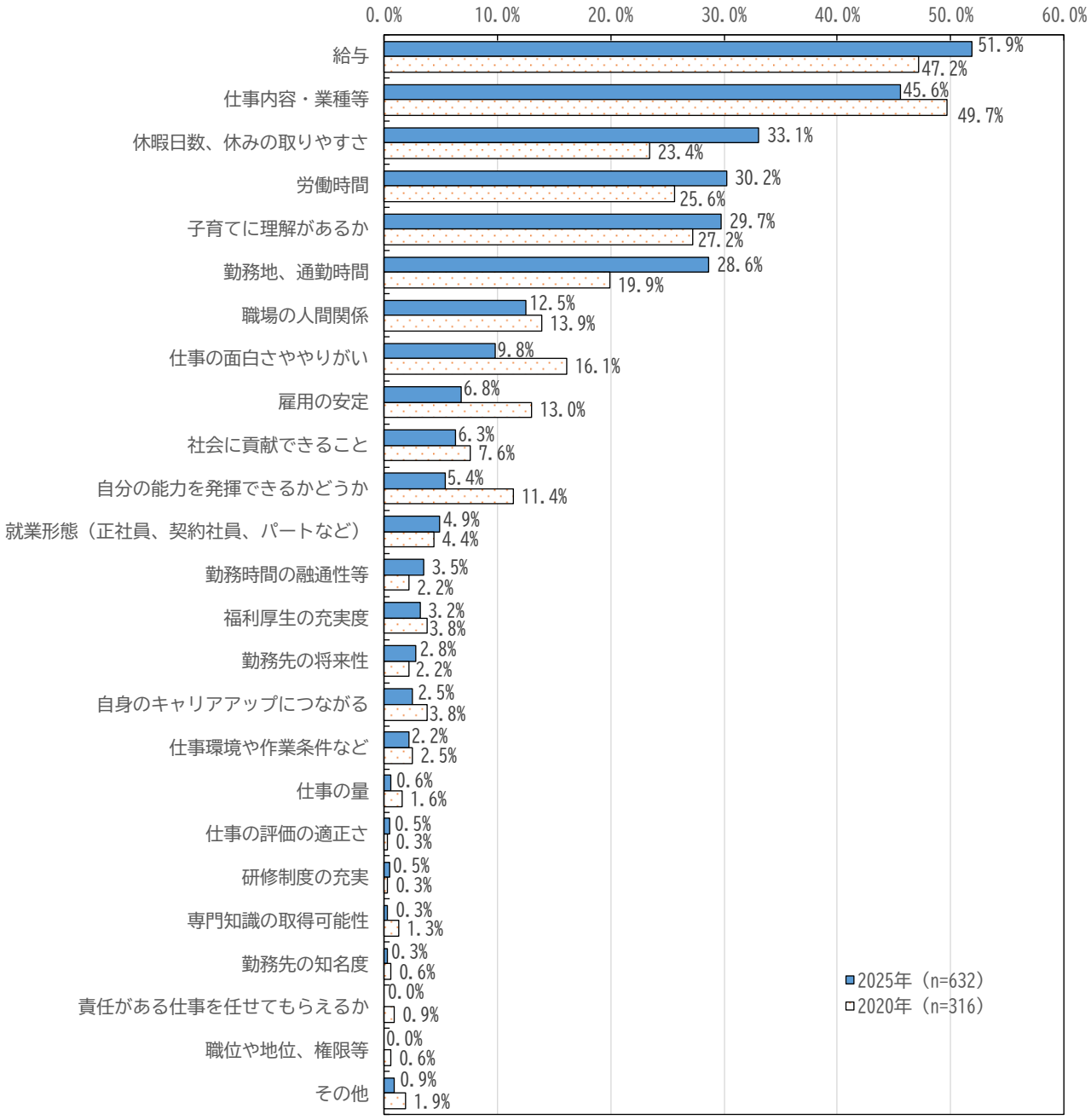
【参考】主な就業形態（性別）



※集計母数が少ないため、性別「その他」の集計結果は表示しない。

- 仕事を選ぶうえで重視することは、「給与」が 51.9%で最も多く、ついで「仕事内容・業種等」「休暇日数、休みの取りやすさ」「労働時間」等が多くなっている

Q11.あなたが仕事を選ぶうえで重視すること（既に就労されている方は、現在の仕事を選ぶうえで重視したこと）は何ですか。（最大３つまで選択）

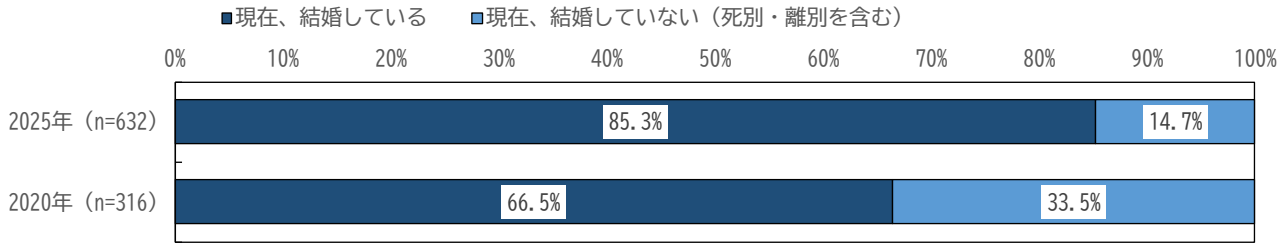


※2020年調査はあてはまるもの全てを選択

4.結婚について

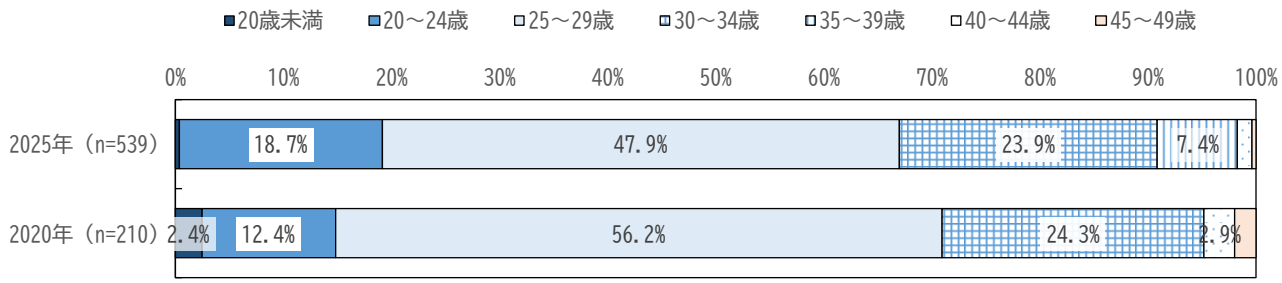
- 「現在、結婚している」が 85.3%で最も多い。
- 結婚時の年齢は「25～29 歳」が 47.9%で最も多く、ついで「30～34 歳」が多い。
- 「共働きである」が 88.1%を占めている。

Q12.あなたは現在結婚していますか。（一つを選択）

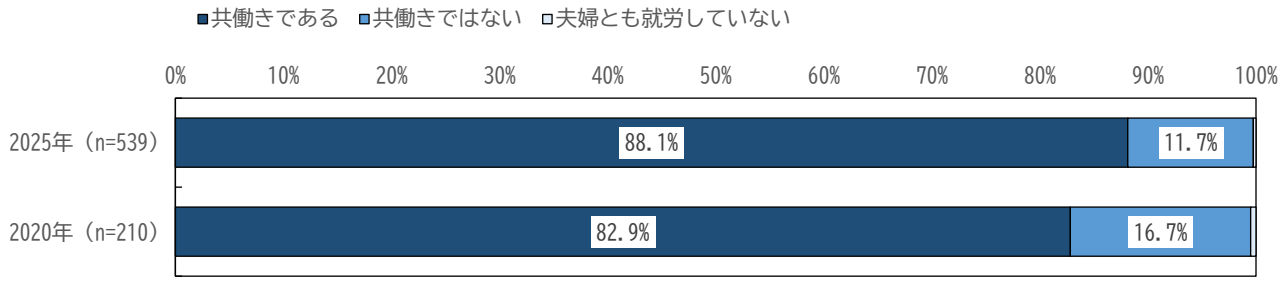


※2020年調査「結婚していないが、将来的に結婚したい」「結婚しておらず、今後もするつもりはない」「結婚していないが、今後結婚するかどうかはわからない」と回答した人を「現在、結婚していない（死別・離別を含む）」に統合し集計

Q13.【Q12 で「現在、結婚している」と回答した方】
結婚時のあなたの年齢を教えてください。（一つを選択）

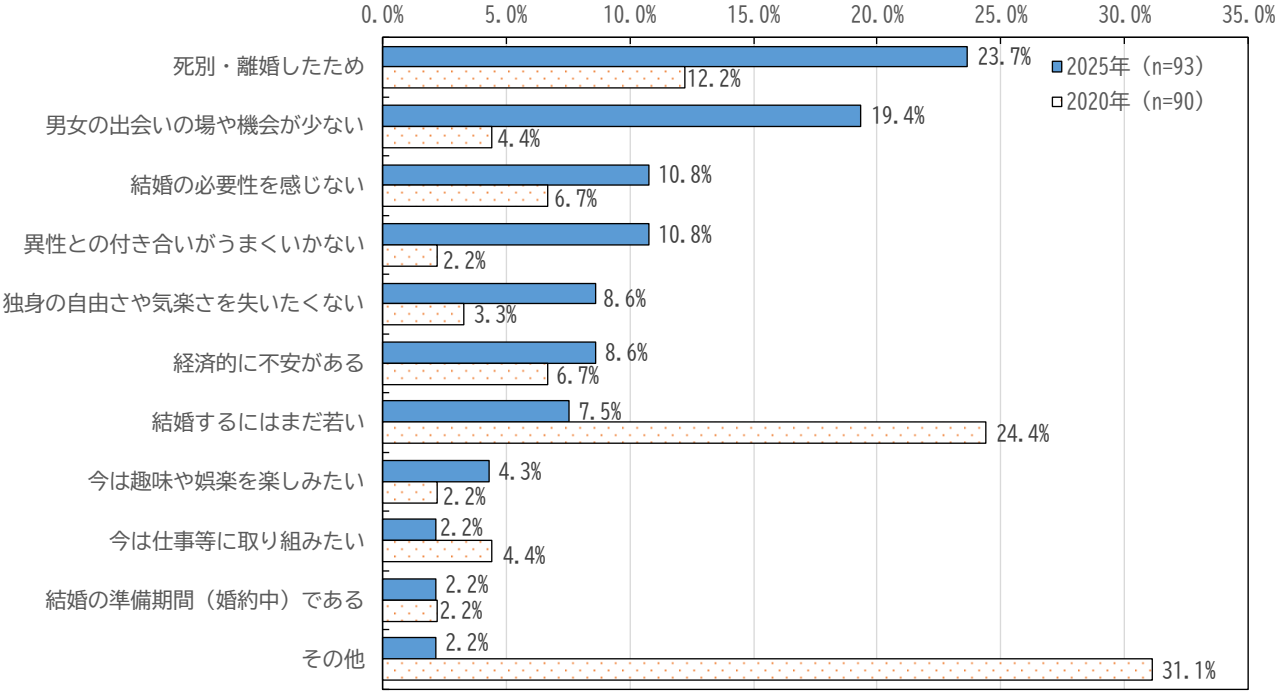


Q14. 【Q12 で「現在、結婚している」と回答した方】
あなたの共働きの状況について教えてください。（一つを選択）



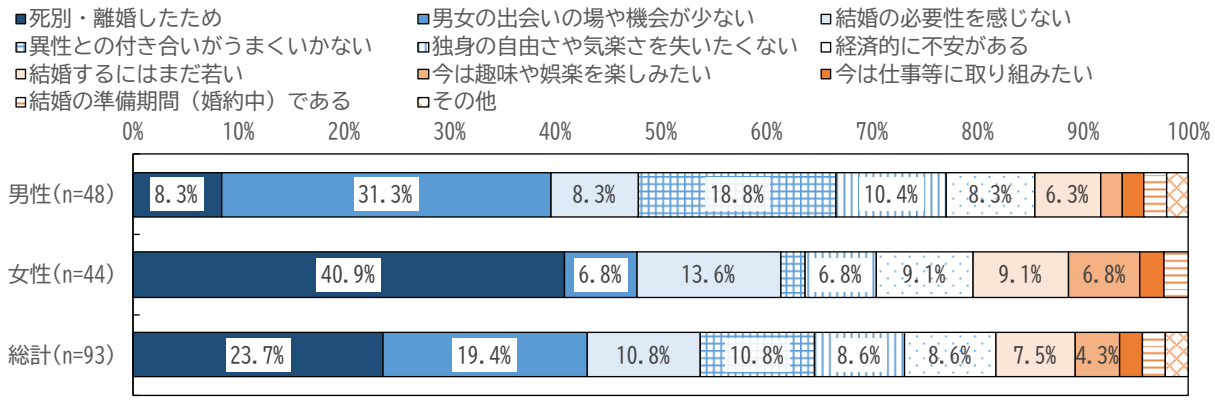
- 結婚していない理由については、「死別・離婚したため」が 23.7%で最も多く、ついで「男女の出会いの場や機会が少ない」が多くなっている。
- 性別で見ると、男性では「男女の出会いの場や機会が少ない」が 31.3%と最も多く、ついで「異性との付き合いがうまくいかない」が多くなっている。一方、女性は、「死別・離別したため」が 40.9%と最も多く、ついで「結婚の必要性を感じない」が多くなっている。

Q15.【Q12 で「現在、結婚していない（死別・離別を含む）」と回答した方】
結婚していないもっとも大きな理由を選択してください。（一つを選択）



※2025年「死別・離婚したため」は2020年は「離婚したため」

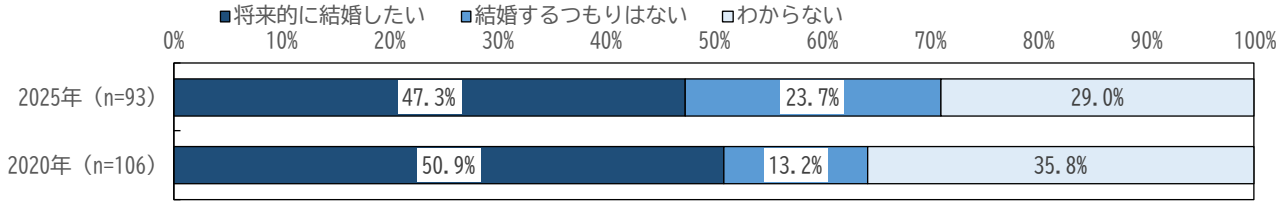
【参考】結婚していない理由（性別）



※集計母数が少ないため、性別「その他」の集計結果は表示しない。

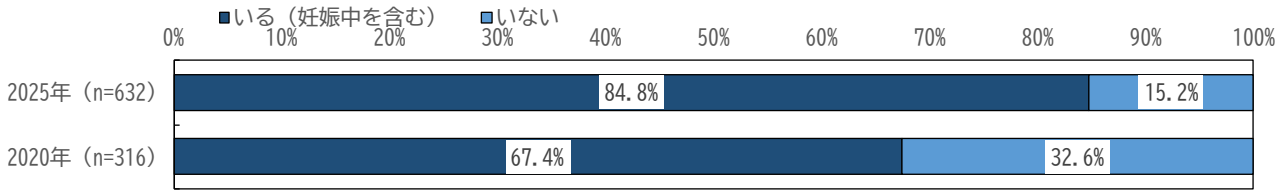
- 今後の結婚の意向については「将来的に結婚したい」が 47.3%で最も多い。
- 子どもの有無については、「いる（妊娠中を含む）」が 84.8%、「いない」が 15.2%となっている。
- 子どもの人数については、「2 人」が 48.1%で最も多く、ついで「1 人」が多くなっている。
- 配偶者以外に身近で子育てをサポートしてくれる人の有無は、「いる」が 78.0%で最も多い。

Q16.【Q12 で「現在、結婚していない（死別・離別を含む）」と回答した方】
あなたは将来的に結婚したいですか。（一つを選択）

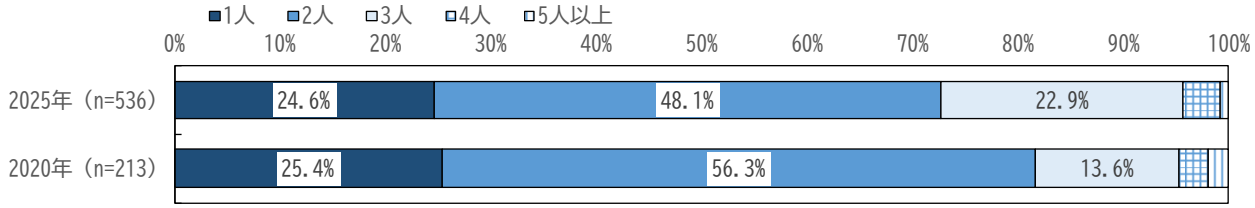


※2020年は「Q12.あなたは現在結婚していますか」のうち、「結婚していないが、将来的に結婚したい」「結婚しておらず、今後もするつもりはない」「結婚していないが、今後結婚するかどうかはわからない」を集計。

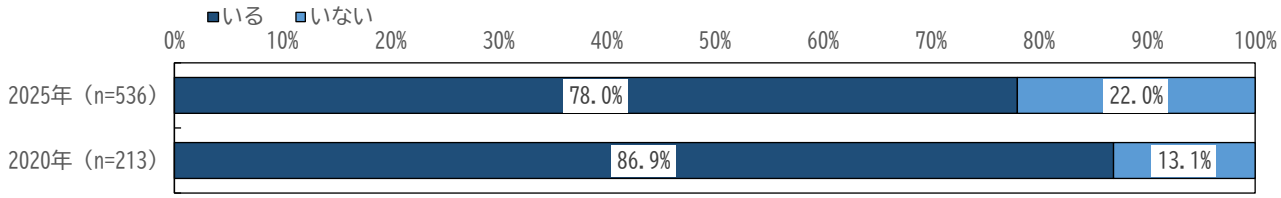
Q17.現在、お子さんはいますか。（一つを選択）



Q18.【Q17 で「いる」と回答した方】
お子さんの人数を教えてください。（一つを選択）



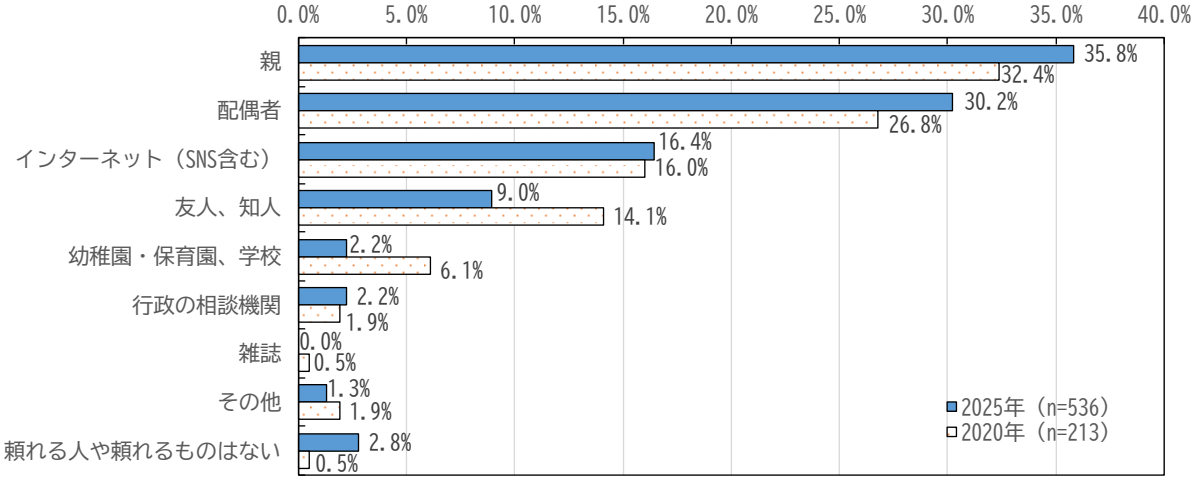
Q19.【Q17 で「いる」と回答した方】
配偶者以外に身近で子育てをサポートしてくれる人はいますか。（一つを選択）



- 出産・子育てで困ったときに主に頼るものとしては、「親」が 35.8%で最も多く、ついで「配偶者」「インターネット（SNS 含む）」が多くなっている。
- 子育ての中での不安や困りごとについては、「子育てや教育などの費用」が 73.9%で突出して多く、ついで「子どもの教育」「緊急時の預け先」「子育てしながらの家事」「子どもの成育・成長」がそれぞれ 4 割前後となっている。

Q20.【Q17 で「いる」と回答した方】

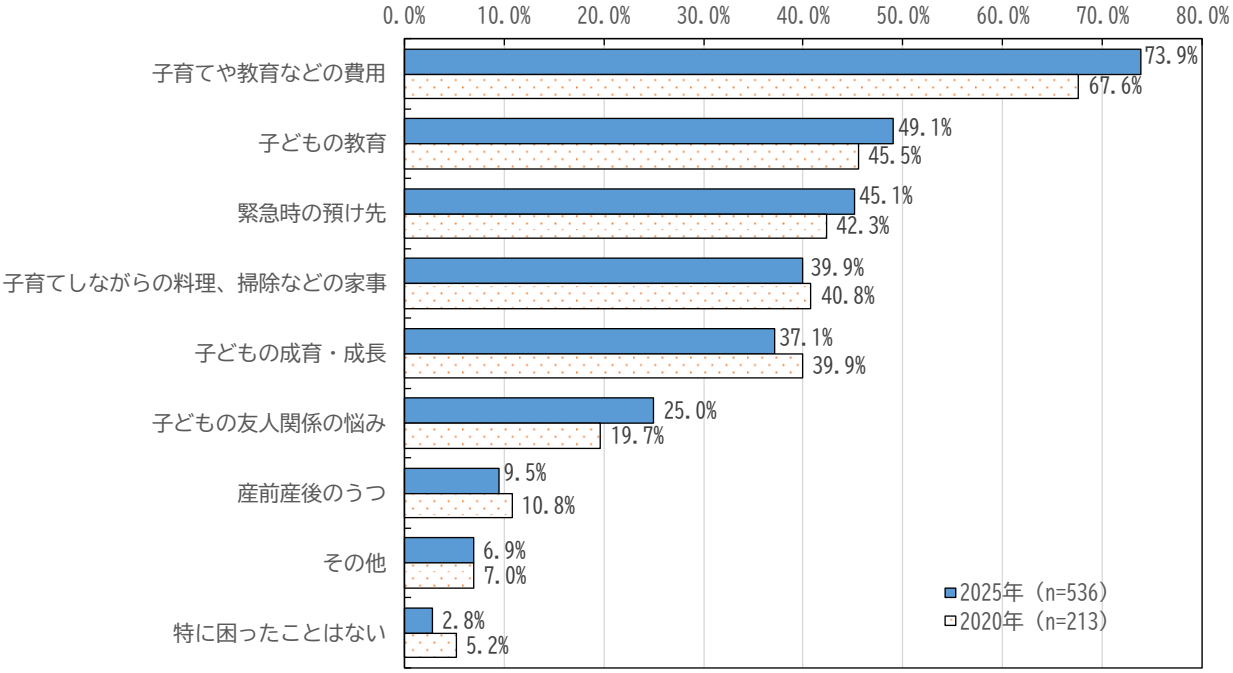
出産・子育てで困ったときに、主に何を頼りに解決しようとしますか。（一つを選択）



※2025年「インターネット（SNS含む）」は、2020年は「インターネット」

Q21.【Q17 で「いる」と回答した方】

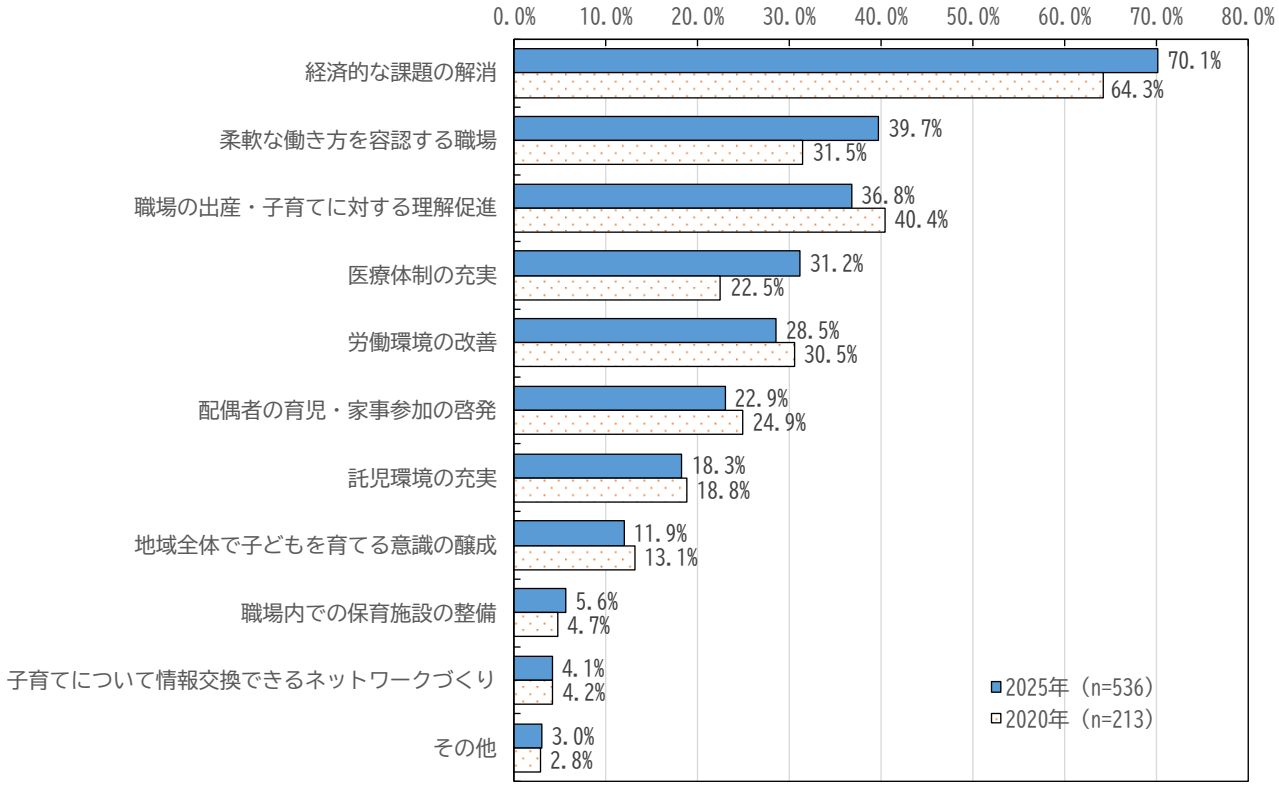
子育ての中で、不安や困りごととしてあてはまるものは何ですか。（あてはまるものを全て選択）



- 希望する人数の子どもを産み、育てるために必要なことは、「経済的な課題の解消」が 70.1%で最も多く、ついで「柔軟な働き方を容認する職場」が多くなっている。

Q22.【Q17 で「いる」と回答した方】

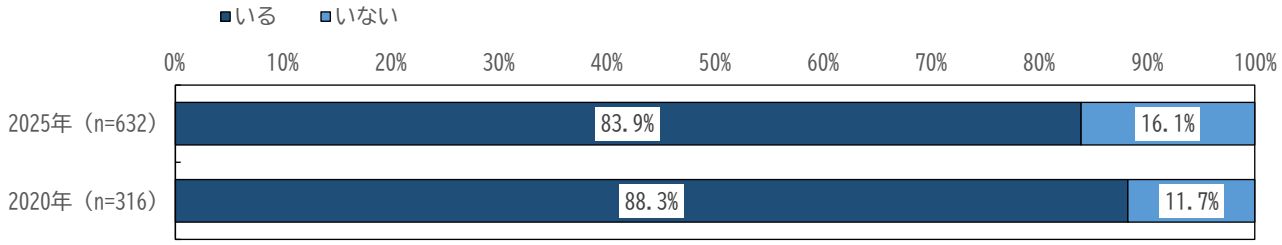
希望する人数の子どもを産み、育てるために必要なことは何ですか。（３つまで選択）



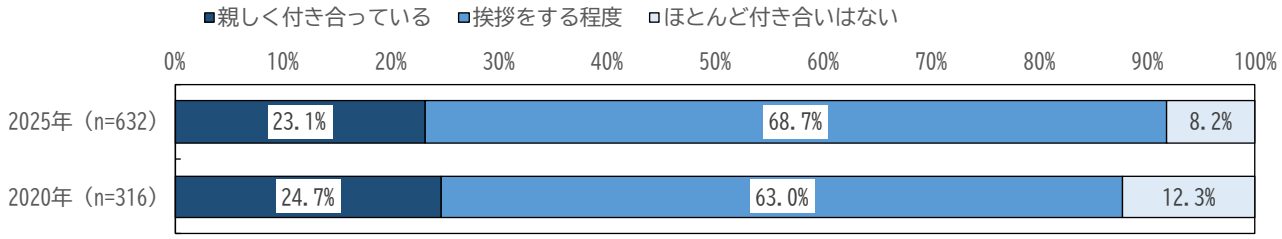
5.近所付き合いや人とのつながりについて

- 身近な頼れる人の有無は、「いる」が 83.9%で大半を占めており、「いない」が 16.1%である。地域で孤立している若者世代は２割程度いると考えられる。
- ご近所付き合いの状況は、「挨拶をする程度」が 68.7%で最も多く、ついで「親しく付き合っている」が多くなっている。
- 須坂市は新しい人が溶け込みやすい地域だと思うかについては、「そう思う」「ややそう思う」を合わせて 55.7%で、半数以上がポジティブな反応を示している。しかし、「あまりそう思わない」「そう思わない」人も 4 割以上となっている。

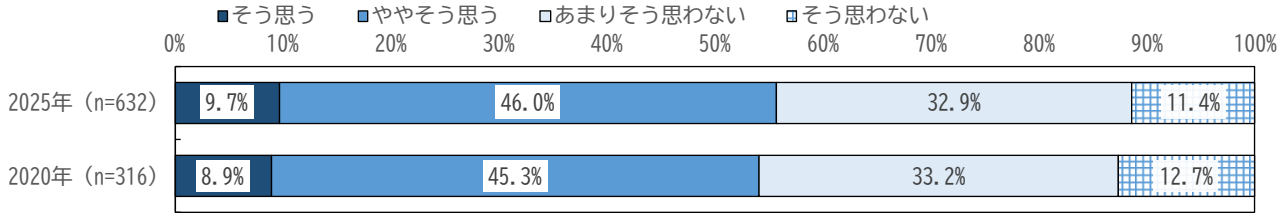
Q23.身近に頼れる人（家族・友人、知人）はいますか。（一つを選択）



Q24.ご近所付き合いはしていますか。（一つを選択）



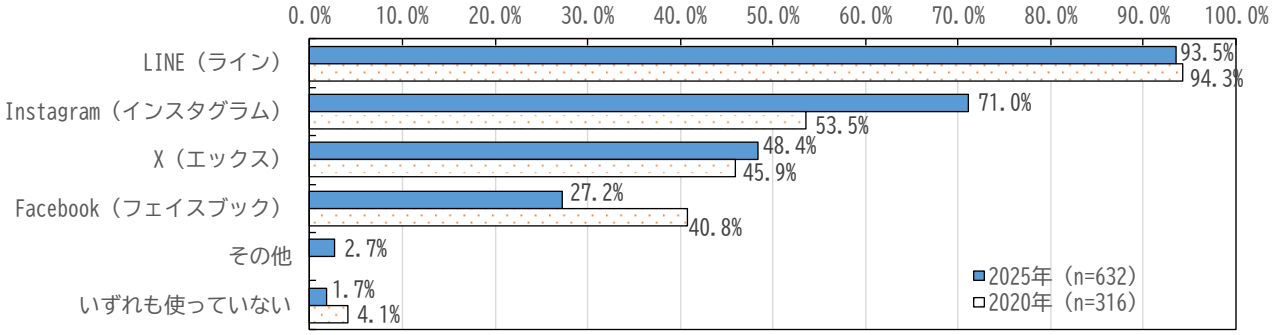
Q25.須坂市は新しい人が溶け込みやすい地域だと思いますか。（一つを選択）



6.利用しているメディアや市政への関心について

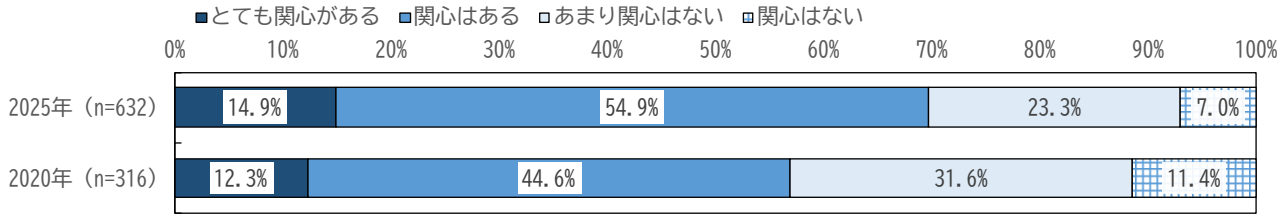
- 利用している SNS は、「LINE」が 93.5%で最も多く、ついで「Instagram」が 7 割程度、「X」が半数程度となっている。
- 市政への関心については、「とても関心がある」「関心はある」を合わせて 69.7%となっている。
- 市や地域の情報の把握に用いているメディアは、「広報」が 49.7%で最も多い

Q26.あなたが利用している SNS としてあてはまるものを全て選択してください。
（あてはまるもの全てを選択）

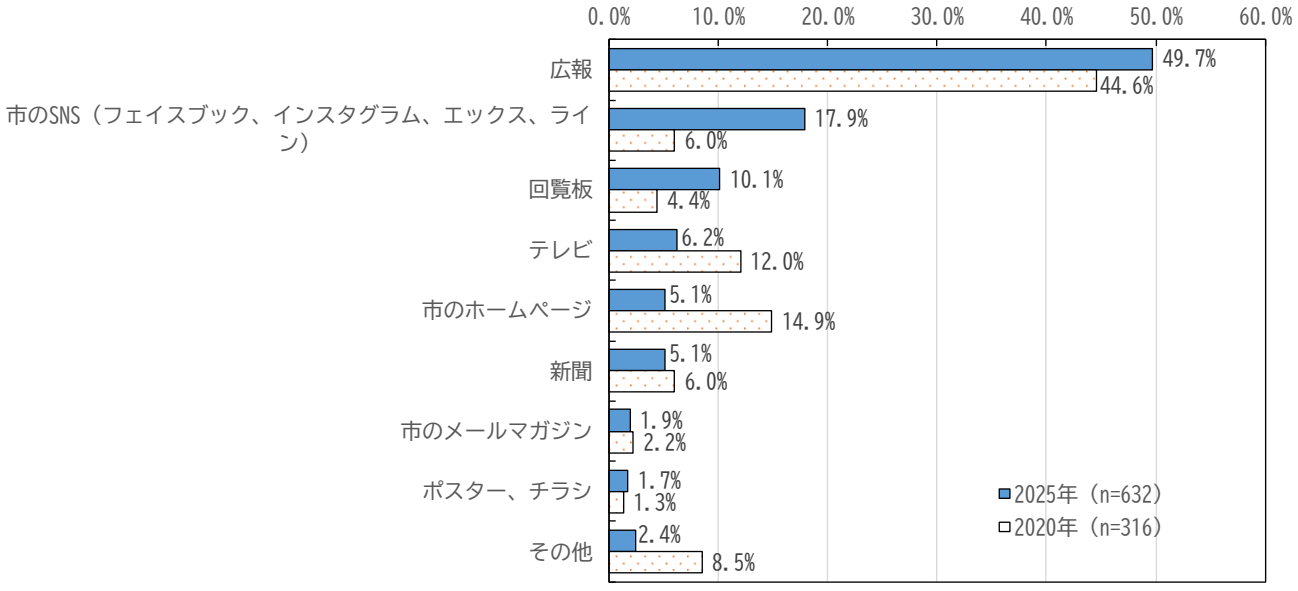


※2020年「Twitter（ツイッター）」を2025年は「X（エックス）」に変更
※2025年「その他」を追加

Q27.市政に関心はありますか。（一つを選択）



Q28.あなたは市や地域の情報はどのようなメディアで把握していますか。（一つを選択）



※2020年「市のツイッター」を2025年は「市のSNS（フェイスブック、インスタグラム、エックス、ライン）」に変更